

平成26年度病害虫発生予報第4号

平成26年7月1日
愛知 県

普通作物

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
イネ	いもち病 (葉いもち)	平年並	県全域	6月下旬現在、発生を認めていない(平年並) 7月の降水量は平年並か多い	± ±～+
	紋枯病	平年並	県全域	6月下旬現在、発生を認めていない(平年並) 前年の発生量は平年並 7月の降水量は平年並か多い	± ± ±～+
	セジロウンカ	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±
	ツマグロヨコバイ	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±
	カメムシ類	やや多い	県全域	畦畔における6月の発生量はやや多い 予察灯における誘殺数は平年並かやや多い	+ ±～+
	フタオビコヤガ(イネアオムシ)	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±
	イチモンジセセリ(イネツトムシ)	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±

・ 防除対策

[イネ・カメムシ類]

本日発表の「斑点米カメムシ類情報第1号」を参照してください。

・ 留意事項

イネいもち病(葉いもち)は、例年、7月上旬に発生します。発生を確認したら、適切に防除しましょう。なお、各地の感染好適日は、本日発表の「いもち病(葉いもち)情報第2号」を参照してください。

本田でセジロウンカの生息を確認しました。なお、トビイロウンカは現在のところ発生を認めていません。詳細は本日発表の「ウンカ情報第1号」を参照してください。

果樹

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ウンシュウミカン	そうか病	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い 7月の降水量は平年並か多い	＋ ±～＋
	黒点病	やや少ない	県全域	5月の枯枝の孢子形成量はやや少ない 7月の降水量は平年並か多い	－ ±～＋
	ミカンハダニ	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い 7月の気温は平年並	＋ ±
	チャノキイロアザミウマ	平年並	県全域	粘着トラップにおける誘殺数は平年並 6月のイヌマキにおける発生量は平年並	± ±
ナシ	黒星病	やや少ない	県全域	6月の発生量はやや少ない 7月の降水量は平年並か多い	－ ±～＋
	うどんこ病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±
	シンクイムシ類	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い 6月のモモの被害新梢率はやや高い	＋ ＋
	ハダニ類	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い 7月の気温は平年並	＋ ±
モモ	せん孔細菌病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並か多い	± ±～＋
	灰星病	平年並	県全域	4月の花腐れの発生量は平年並 7月の降水量は平年並か多い	± ±～＋
	ナシヒメシンクイ	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い	＋ ＋
	モモハモグリガ	やや少ない	県全域	6月の被害葉率は低い フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	－ －
	ハダニ類	多い	県全域	6月の発生量は多い 7月の気温は平年並	＋ ±
ブドウ	黒とう病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並か多い	± ±～＋
	べと病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並か多い	± ±～＋
	チャノキイロアザミウマ	平年並	県全域	粘着トラップにおける誘殺数は平年並 6月のイヌマキにおける発生量は平年並	± ±
カキ	角斑落葉病 円星落葉病	やや少ない	県全域	前年秋の発生量はやや少ない 7月の降水量は平年並か多い	－ ±～＋
	うどんこ病	やや少ない	県全域	6月の発生量はやや少ない	－

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
果樹共通	カメムシ類	やや多い	県全域	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数はやや多い スギ・ヒノキの球果量はやや少ない	＋ ＋

・防除対策

[ウンシュウミカン・そうか病]

被害葉、被害果は見つけ次第取り除き、園外へ持ち出し適切に処分しましょう。ジマインダイセン/ペンコゼブ水和剤、ベルコートフロアブルなどで防除しましょう。

[ウンシュウミカン・ミカンハダニ]

多発生園では、マイトコーネフロアブル、コロマイト水和剤などで防除しましょう。

[ナシ・シンクイムシ類]

ナシ園への多飛来が予測されます。フェロモントラップにおける誘殺状況に注意して、ダントツ水溶剤、ラービンフロアブルなどで防除しましょう。

[ナシ・ハダニ類]

多発生園では、バロックフロアブル、ダニサラバフロアブルなどで防除しましょう。

[モモ・ナシヒメシンクイ]

芯折れは見つけ次第取り除き、処分しましょう。芯折れが多く見られる場合は、ラービンフロアブル、モスピラン顆粒水溶剤などで防除しましょう。

[モモ・ハダニ類]

多発生園では、スターマイトフロアブル、マイトコーネフロアブルなどで防除しましょう。また、早期落葉を防ぐために収穫終了後にカネマイトフロアブル、コロマイト乳剤などで防除しましょう。

[果樹共通・カメムシ類]

6月2日発表の「果樹カメムシ情報第2号」を参照してください。

・留意事項

ブドウベと病は、降雨が続くと急速に蔓延するおそれがあります。発生を確認したら、速やかに防除しましょう。

ウンシュウミカン及びブドウのチャノキイロアザミウマ第3世代（一部、第2世代）成虫の発生ピーク時期が近づいています。本日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第3号」を参考に、成虫発生ピーク時期に防除しましょう。

花き

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
キク (露地)	白さび病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並が多い	± ±～+
	アブラムシ類	やや少ない	県全域	6月の発生量はやや少ない 黄色水盤、黄色粘着トラップに おける誘殺数は平年並	- ±
	アザミウマ類	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±
	オオタバコガ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い	+

・防除対策

〔キク（露地）・オオタバコガ〕

ほ場で幼虫を確認したら、コテツフロアブルやプレオフロアブルなどで防除しまし
よう。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台6月26日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は平年並
または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は平年並の確率50%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：30% 平年並：40% 高い：30%

〔降水量〕 少ない：20% 平年並：40% 多い：40%

〔日照時間〕 少ない：40% 平年並：40% 多い：20%

農薬危害防止運動実施中（6月1日から8月31日まで）

今年度の重点事項は次の3つです。

- 1 農薬ラベルの十分な確認
- 2 農薬の飛散防止
- 3 農薬の盗難・紛失等の防止